

堅牢なSecure Shellインフラの基盤

世界中の企業及び政府機関はリモートでのシステム管理のみならず、アドホック及び自動化されたファイル転送を含む最も重要なITプロセスをセキュアにするため、Tectia SSH Client及びServerを利用しています。これら企業組織は単なるオープンソースソリューションでは利用出来ない機能、信頼性及び管理性向上の為にTectiaを選択しました。世界でもっとも優れた専門の技術サポート部隊に支えられた商用ソフトウェアを利用することでユーザーは成熟したSecure Shell技術を確実に展開することができるようになりました。フォーチュン10社の内の7社を含む世界3,000社以上の顧客が、情報資産をサイバー犯罪及び内部の脅威から保護するにあたって、Tectia SSH製品に信頼を寄せており、又ミッション・クリティカルなビジネス・プロセスがTectia SSH製品を利用して運用されています。



迅速で透過的な展開

Tectia SSH Client及びServerは多様な分散システム環境においても、簡単に迅速な展開が行えるように設計されています。多くの企業では、レガシーなシステムやアプリケーションが混在し、その変更はビジネス上クリティカルであり困難です。Tectia Client及びServerはアプリケーションやプロセスに対し、危険でコストのかかる変更を必要とせずレガシープロセスに不可欠なセキュリティレイヤーを追加し、これらの環境をサポートします。

リスクの低減、コンプライアンス対応

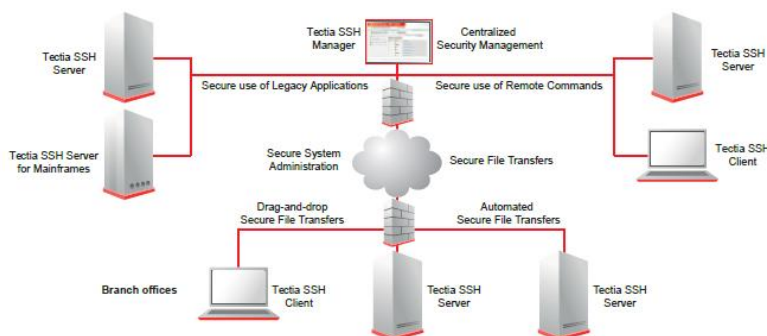
現在の企業が直面している最も深刻なリスクとコンプライアンスの問題が情報漏えいへの脅威です。Tectia Client Serverは困難で緊急を要する情報の漏えい・損失の危機的な状況に企業が対処し解決する事を可能にする製品です。

情報保証プラットフォーム

Tectia SSH Client及びTectia SSH Serverは、企業がSecure Shellインフラストラクチャーの展開、一元管理、及び操作を可能にするSSHコミュニケーションズセキュリティ社の情報保証プラットフォームの中核となるモジュラーソリューションです。Secure Shellはセキュアなプロトコルですが、セキュリティソリューションではありません。Secure Shellの不適切な利用は、日常の一般的な管理のコスト負担と、リスク及びコンプライアンスの問題をもたらすこととなります。Secure Shellの発明者として、SSHコミュニケーションズセキュリティ社はこの問題を十分理解しています。当社の経験と知識をお役立て下さい。

エンタープライズクラスのSSHプラットフォーム

- フルサポート: オープン・ソース・ソリューションと異なり、全ての製品が最も経験豊かなテクニカル・サポートとR&Dによってフルサポートされています。
- プラットホームベースのアプローチ: シンプルなある一点のみでのソリューションを越えた本製品により、現在又将来のセキュリティに対する要求を満たします。簡単に拡張可能な統合・モジュール方式のプラットフォームを提供します。
- 様々なプラットフォームをサポート: Tectia SSH Client及びTectia SSH ServerはUnix、Linux、Windows、IBM z/OS及びLinux on z/OSをサポートする、マルチプラットフォーム対応の統合されたソリューションです。



特徴

セキュアなファイル転送

- 強力なデータ暗号化
- 強力なファイル完全性チェック
- GUIを利用したドラッグ&ドロップによるセキュアなファイル転送
- SFTP及びSCPコマンドラインツールによる対話型及び自動ファイル転送への対応
- 数ギガバイトのファイル転送をサポート
- SFTPプロトコルを使用するAnonmousアクセス
- 低速回線用にストリームデータの圧縮機能をサポート

Tectia Server for IBM z/OS

- MVS及びUSSファイルシステムをサポート
- SITEコマンドをサポートするSFTP拡張
- MVSデータセット・ダイレクト・ストリーミング
- 自動EBCDIC-ASCIIキャラクター変換
- z/OS Job Entry Subsystem (JES)との接続

導入の容易さ

- エンドユーザー及びシステム管理者用のGUIをサポート
- コネクションプロファイル作成機能をサポートしセッションの開始を容易化

- リモートアクセスの際にエンドツーエンドでの通信をセキュアにするためのトンネルのネスト化機能をサポート
- Tectia SSH Managerによる一元的な展開と管理が可能

セキュアなアプリケーション通信

- 自動トンネリング
 - TCP/IPポートフォワーディング
 - X11セッションをセキュアにフォワーディング
 - アプリケーションのトンネリングに既存システムの変更を必要としない透過的なTCPトンネリング ※1
 - わかりやすいフィルタールールの為、設定が容易
 - 自動接続セットアップ: ユーザー名と接続先ホストを含む接続パラメータをFTP通信から取得可
 - トンネル設定時の明文転送への代替え設定機能 ※1
 - OpenSSHを含む標準のSecure Shellサーバーに対する接続をサポート
 - IPv6をサポート
- ※1 透過的トンネル機能はマイクロソフト社のWindows XP、Vista及び7上でのみサポート

セキュリティ

- 複数のチャンネルをサポート
- IETF Secure Shell(SecSh)標準に準拠
- ユーザーとサーバーの強固な認証
- データ転送の強固な認証
- 認証エージェント機能
- リキーイングポリシーの設定が可能
- 複数のセキュアなセッションを単一のTCP/IPコネクションに多重化するマルチチャンネル機能をサポート

ユーザー及びサーバー認証

- パスワード、公開鍵認証及、トークン及びTectia MobileIDを利用した二要素認証等のユーザー認証をサポート
- ユーザー及びサーバーの公開鍵認証
- OpenSSH鍵のサポート
- LDAP等の他社製品との統合を容易にするキーボードインタラクティブインターフェイス
- GSSAPI/Kerberosのサポート

仕様

暗号化アルゴリズムのサポート

非対称アルゴリズム(公開鍵)

- DSA/RSA

対称アルゴリズム(セッション暗号)

- AES (128/192/256 bit)
- 3DES (168 bit)

データ貫性アルゴリズム

- HMAC MD5, HMAC SHA-1, HMAC SHA224, HMAC SHA256, HMAC SHA384, HMAC SHA 512

Key Exchange Algorithms:

- Diffie-Hellman (SHA-1 and SHA-2 methods)

認証

- FIPS140-2 certified cryptographic module

PKI機能のサポート

- X.509 v3 証明書をサポート
- HTTP, LDAP, offlineでのX.509 v2 CRL フェッチ
- OCSP
- PKCS#7 / PKCS#12 インポート
- PKCS#8 / PKCS#11 鍵サポート
- WindowsでのMSCAPIサポート

対応プラットフォーム

Tectia製品はサポートOSに対応する標準のHWプラットフォームで動作可能です。

- HP-UX 11iv1, 11iv2, 11iv3 (PA-RISC)
- HP-UX 11iv2, 11iv3 (IA-64)
- IBM AIX 5.3, 6.1, 7.1 (POWER)
- Microsoft Windows XP, Server 2003, Server 2003 R2, Vista(※2), Server 2008, 7 (x86)
- Microsoft Windows Server 2003, Server 2003 R2, Vista(*3), Server 2008, Server 2008 R2, 7(x64)
- Red Hat Enterprise Linux 4, 5, 6 (x86,x86-64)
- Oracle Solaris 9, 10 (SPARC)

- Oracle Solaris 10, 11 (x86-64)
 - SUSE Linux Enterprise Desktop 10, 11 (x86, x86-64)
 - SUSE Linux Enterprise Server 9, 10, 11 (x86)
 - SUSE Linux Enterprise Desktop 10,11 (x86-64)
 - Vmware ESX 3.5
- ※2 Client及びConnectSecureのみWindows Vistaに対応

他社認証製品のサポート

- Tectia MoileID
- Entrust Authority™ Security Manager
- Microsoft CA
- Windows ドメイン認証(GSSAPI経由)
- RSA SecurID ®
- SafeWord ®(PAM使用)
- RADIUSによるMicrosoft IAS
- FreeRADIUS
- Centrify Direct Control

販売代理店: 株式会社ディアティ

TEL:03-5634-7652 Mail:info@dit.co.jp URL:http://www.dit.co.jp